

21 家事労働について（第1報）

埼玉大学 稲葉 ナミ

「夫妻の生活の時間的構造について」報告したように、夫妻共に労働時間が長すぎて、その他の生活が圧迫されていること、殊に妻はその夫より労働時間が長く、睡眠時間さえ生理的限界以下のものが少なくないことが分った。

そこで、家事労働について、その特質を知り、家事労働の時間差を生じる原因をさぐり、また、家事労働の長短によって家事労働の内容がどのように変化するかを知って、家庭管理上の一指標を得ようとするもので、今回はその第1報である。